

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市榴岡図書館	
2	指定管理者	丸善雄松堂 株式会社	
3	指定期間	平成29年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
4	施設の利用状況	《利用者数》 平成30年度：108,175人団体〔個人：107,967人、団体・文庫：208団体〕（前年度比121.0%） 平成29年度：89,403人団体〔個人：89,235人、団体・文庫：168団体〕 平成28年度：83,038人団体〔個人：82,845人、団体・文庫：193団体〕	
		《事業》 仙台市榴岡図書館の運営管理	
5	収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 44,410千円 （44,410千円） ・ その他市が負担した費用 12,346千円 （12,359千円）	
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 （0千円） ・ その他収入 35千円 （31千円）	
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート 実施期間：平成30年12月9日（日）～12月22日（土） 利用者懇談会 開催日：平成31年2月15日（金）	

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	図書館の設置目的を踏まえて策定された施設運営上の基本方針に基づき運営管理されている。全館共通の業務や行事は適切に行われている。サービスの質の向上や利用促進のための取り組みもなされている。	24/24
II	施設の運営管理体制	職員の勤務実績や配置状況、また、施設の開館状況は仕様書に相違なく適切である。指定管理料も適正に執行されている。個人情報の取扱や情報システムのセキュリティ対策についても徹底している。不審者への対応、事故防止策等について関係機関と連携するとともに他図書館の危機管理事例に基づき研修を実施している。災害発生時の訓練も適切に実施されている。	30/30
III	施設・設備の維持管理	建物及び設備は適切に管理されている。環境へ配慮した取り組みもなされている。備品も適切に管理されている。	17/17
IV	サービスの質の向上	利用者への丁寧な対応を基本姿勢として、サービスの向上に努めている。利用者アンケートや利用者懇談会から把握できた利用者ニーズについて、可能な限り対応を行っている。研修を受講しやすい環境を整え各種研修へ積極的に参加するとともに、参加者による研修成果を還元する報告も行われている。近隣の学校や児童館・保育所へ催事の案内等を持参し、潜在的な利用者へのアピールに努めている。	27/27
V	施設固有の基準	読書離れが著しいヤングアダルト世代に向けた読書活動推進の取り組みとして、選書サポーターとして学生を募り、ともに選書・展示・広報誌づくりを行うなど、積極的な取り組みを継続的に行っている。	17/16

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（丸善雄松堂 株式会社）による自己評価》
<p>平成30年度は「基本方針」と「仙台市図書館振興計画」に基づき地域の教育機関、団体等との連携を促進し利用者サービスの向上を図るとともに地域に根ざし親しまれる図書館を目指して業務と自主事業を進めた。また資料の配架においても、限られたスペースの中で蔵書数を増やすために文庫本や新書サイズの本を意識的に選定した。</p> <p>自主事業は、計57回(延回数)実施した。仙台朗読奉仕の会との連携事業「大人のための朗読会」では、榴岡図書館を利用したことのない利用者の参加も多かったが、会場と館内で関連書の展示を行い利用を促進した。また尚絅学院大学のワークショップも参加者には好評で、前年度から連続して参加している学生も見られた。</p> <p>利用実績は、システム変更後(平成30年1月～3月)と今年度の同期間を比較すると、利用者数(延人数)は15.0%増、貸出冊数は20.5%増となった。個人への貸出冊数増と併せ地域団体と積極的に連携し図書館のPRを行う等、利用の増加に繋がるよう工夫してきた結果だと考える。また、平成30年度は新規団体登録された保育園、保育所が2件増加した。地域に積極的に出向き潜在的利用者の掘り起こしを行ってきた結果だと考える。</p> <p>教育研修は、定例会での報告、および研修報告書の回覧によってフィードバックし職員全体でのスキルアップを図った。運営の評価は、自己評価や市民図書館による定例監査の他、全市的に行われた「図書館利用者アンケート」「利用者懇談会」各自主事業ごとのアンケートを実施し寄せられた意見を参考に利用者ニーズを把握し課題解決に努めた。</p> <p>施設管理は、開架書架の配置換えを適宜行う等、より利用者が資料を探しやすいように整えた。また「仙台市公共施設点検要綱」に則して定期的な点検を行うとともに、女子トイレのドアの閉まりを調整する等といった施設の適切な維持管理を行った。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成30年度は、図書館事業では、「夏休み読書スタンプラリー」や「あなたのおすすめ本を教えてください」等の独自の事業のほか、仙台市歴史民俗資料館との連携による講演会の開催も定着し充実している。また、「みやぎの・まつり」や「エキヒガシ七夕交流会」等地域のイベントに積極的に参加するなど地域団体やボランティアとの連携を深めながら、図書館のPRを行っている。</p> <p>読書離れが著しい中高生(ヤングアダルト世代)への読書推進を目的に、中高生の選書サポーターを募集し、中高生サポーターによる図書館の選書・書架の装飾・ブックリスト作成への支援活動を行った。また、仙台青葉学院短期大学や宮城学院女子大学、尚絅学院大学等の複数の大学と、講師派遣や職場体験受入などで連携を図り、将来の読書活動推進の担い手育成に寄与し、若い世代の図書館利用促進につなげる取り組みは高く評価できる。</p> <p>施設の維持管理について、館内の配置の工夫や、文庫本や新書サイズの本の意識的な配架による蔵書数の増加、カウンターの一部を利用したテーマ展示の実施等により、限られたスペースの中でも魅力的で快適な館内の維持に努めており、利用者へより良いサービスを提供するよう図っている。</p> <p>今後もより一層、民間のノウハウを活かした図書館利用促進にかかる事業実施による利用拡大に期待する。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局市民図書館